

経済産業省における航空機開発その他の重要施策

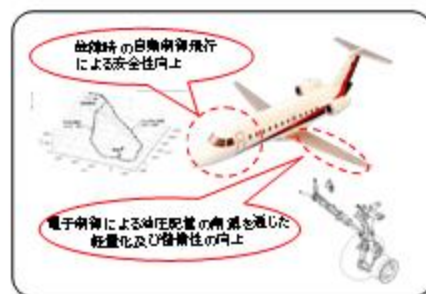
航空機用先進システム基盤技術開発

○航空機の安全性向上及び運航コスト低減に資する、先進的なシステム技術の開発を実施。

<開発技術例>

- ・耐故障飛行制御システム技術
- ・電子制御アクチュエータシステム技術
- ・エンジンストール予兆検知システム技術
- ・低損失ギアボックスシステム技術 等

- 研究開発期間
：平成11年度～23年度
- H19FY予算案(H18FY予算)
：5.1億円(4.1億円)



超高速輸送機実用化開発調査

○世界的に高い評価を受けているHYPR/ESPRプロジェクト等、これまでの研究成果を活用しつつ、環境適合性及び経済性の面から超高速輸送機を開発するために必要な技術的課題を抽出し検討を実施。

<開発技術例>

- ・衝撃波(ソニックブーム)を低減するための機体形状の検討
- ・空力特性と居住快適性を両立するための機体形状の検討 等

- 平成17年6月に、日仏航空宇宙工業会にて合意された共同研究の一部を、本事業にて実施。
- 超音速旅客機開発では、当該分野に深い知見を有するJAXA等とも連携



- 研究開発期間
：平成14年度～21年度
- H19FY予算案(H18FY予算)
：1.5億円(1.3億円)

小型民間輸送機等開発調査

○航空機産業の自律的発展基盤の確保及び一層の高度化推進の観点から我が国主導の機体開発を実現するため、次期輸送機(C-X)、救難飛行艇(US-2)の民間転用を含め、小型民間輸送機等の開発可能性を検討すべく、市場調査及び要素技術開発等を実施する。

<検討機体例>

- ・次期輸送機(C-X)
- ・救難飛行艇(US-2) …等

- 研究開発期間
：平成元年度～
- H19FY予算案(H18FY予算)
：1.2億円(1.7億円)

